

「知」のナビ事典 日本の伝統芸能

日外アソシエーツ編 A5・410頁 定価(本体9,250円+税) ISBN978-4-8169-2663-1 2017年6月刊行

- 雅楽、地唄舞、能・狂言、歌舞伎、落語、民俗芸能など394項目の日本の伝統芸能について、解説と関連書籍で案内する事典です。
- 関連書籍は主に2000年以降に刊行されたものを中心に4,725点の情報を収録。歴史・背景、伝承、鑑賞法、名人伝、保存・普及活動、現在置かれている状況など広く深く理解するためのブックガイドとなっています。
- 「事項名索引」付き。

【見出し項目例】

伝統芸能全般 : 日本芸能史、天鈿女命、仏教と芸能、人間国宝、国立劇場…

音楽 : 邦楽器、雅楽、声明、八雲琴、曲舞、説経節、浄瑠璃、清元節…

舞踊 : 舞踊(日本舞踊)、地唄舞、舞踊家、京舞…

演劇 : 能・狂言、猿楽・田楽、観阿弥・世阿弥、謡曲、狂言、人形浄瑠璃(文楽)、歌舞伎、歌舞伎十八番、義太夫狂言、荒事と和事、農村歌舞伎、新派劇…

大衆芸能 : 大道芸・門付芸、瞽女唄、万歳、猿回し、寄席、上方演芸、講談、落語、浪曲、曲芸、和妻…

郷土芸能 : アイヌの芸能、津軽じょんから節、早池峰神楽、佐渡の人形芝居、越中の稚児舞、木曾節、郡上踊、三河万歳、河内音頭、聖霊会の舞楽、隠岐国分寺蓮華会舞、安来節、金毘羅船々、よさこい節、佐賀箏笛長持唄、長崎くんちの奉納踊、高原の神舞、与論の十五夜踊、琉球舞踊…

内容
見本

394 組踊 くみおどり

【概要】音楽、舞踊、台詞で構成される沖縄の歌舞劇で、琉球尚円王統十三代の尚敬王(1713年～1751年在位)が、1719年、中国からの冊封使を歓待するため、躍奉行であった玉城朝薫に命じて創作させたもののはじまりである。内容は沖縄の史実や伝説に由来したものである。音楽には三線、箏、太鼓、笛、胡弓が用いられる。代表的な作品には「二童敵討」「執心鐘入」「銘苺子」「女物狂」「孝行の巻」「手水の縁」「花売の縁」「大川敵討」「万才敵討」「大城崩」などがある。

【重文ユネスコ指定】重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産、重要無形文化財(組踊音楽歌三線、組踊立方)

◇南島論叢 伊波先生記念論文集編 ◇組踊選集 当問一郎編著 那覇 沖縄風土記社 1968 257p 22cm
編輯委員会編 那覇 沖縄日報社 1937 457p 図版 表 23cm

◇組踊がわかる本—沖縄学習まんが 2 大城立裕監修、漢那瑠美子漫画 那覇 沖縄文化社 2007.11 125p 19cm 951円 ① 978-4-902412-11-6

◇世界の至宝組踊—ユネスコ無形文化遺産登録 琉球新報社編 那覇 琉球新報社 2011.9 74p 21cm 933円 ① 978-4-89742-134-6

【目次】第1章 組踊の始まり(組踊の創始者玉城朝薫、「朝薫の五番」忠・孝・節描く、組踊の仕組みほか)、第2章 組踊の広がり(県内各

地に伝わる組踊、戦前戦後支えた重鎮、人間国宝-芸の道一筋)、第3章 組踊の現在(組踊の魅力と課題—座談会、未来へ羽ばたく組踊研修生、各地へ出張普及に意欲子の会 ほか)

◇執心鐘入—自主公演(組踊鑑賞教室)平成二十八年(二〇一六)十一月 浦添 国立劇場おきなわ運営財団 2016.11 129p 21cm (国立劇場おきなわ上演 資料集 40 国立劇場おきなわ調査養成課編)

■既刊

「知」のナビ事典 全国霊場・観音めぐり

A5・520頁 定価(本体9,250円+税) ISBN978-4-8169-2647-1 2017.3刊

2017.5

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

「知」のナビ事典 日本の伝統芸能

定価(本体9,250円+税) ISBN978-4-8169-2663-1

冊



9784816926631